

厳しい冬の寒さも次第にやわらぎ、桜前線が列島を北上するのももうすぐ。しだれ桜で知られる兵庫県新温泉町の泰雲寺など桜の名所に近い但馬の名湯、湯村温泉は露天風呂を楽しめる客室が50室に増えるなど、近年リニューアルした施設も多い。温泉と桜を楽しむ春の旅に最適だ。

泰雲寺のしだれ桜は推定樹齢約250年、京都の天龍寺から移植されたと伝わるもので、幹回りは西日本一の大きさを誇る。花の色が濃く、優雅な姿が特徴。また、温泉街を見下ろす正福寺桜が美しい花を咲かせる。両寺とも例年3月下旬

旬に開花しているが、今年は早まる予想される。

湯村温泉では、専用の露天風呂が付属する客室が全旅館・ホテルで50室。展望風呂や庭園付き、総檜風呂

など各施設が特色豊かなつるぎの空間を演出しており、部屋選びも楽しい。

温泉街には、足湯カフェや地物の野菜や魚介を使った玉手箱ランチの楽しめる休憩処「西之議屋」や、世界的庭園デザイナー石原和幸氏がプロデュースした庭園つきの露天風呂やワーケーションにも対応した設備を備えた宿泊施設「緑屋」など、新しい施設が次々オーブンしている。

湯村温泉へは、車で北近畿豊岡自動車道・八鹿水ノ山ICから国道9号を約1時間。JR山陰本線浜坂駅からバスで約25分。問い合わせは、湯村温泉観光協会（0796・92・2000）。



湯村温泉。「緑屋」の貸切露天風呂。石原和幸氏がプロデュースした庭園付きで利用できる（緑屋提供）



2023年3月16日  
産経新聞 夕刊 エンタメ面